

中野区重症心身障害児(者)を守る会は、全国守る会の  
最も弱いものをひとりももれなく守るといふ基本理念のもと活動しています。

# 会報

# 第13号

令和5年3月発行

# ほほえみ

中野区重症心身障害児(者)を守る会

会長 宇野 雅子



※本会報は、主として「UD書体」を中心に使用しています

E-mail: nakanokumamorukai@gmail.com

NAKANO2023.03.01

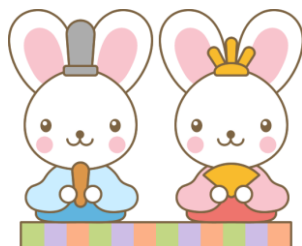
「 兔年は飛躍の年に 」

2023年もあっという間に2か月が過ぎてしまいました。今年初めての、今年度最後の会報です。定例会もZoomでと、すっかり冬ごもりの中野区重症心身障害児(者)を守る会ですが、来年度に向けて少しずつ準備しています。中野区の障害福祉もいろいろな動きがでています。多くの方が心待ちにしている短期入所ですが、江古田三丁目重度障害者グループホーム等整備事業について新たな方針が示されました。(仮称)中野区医療的ケア児等支援情報連絡会も来年度いよいよ始まります。私たちも勉強していかなくては、飛躍とはいかずともコツコツと…



宇野 雅子

## ◆ 活動報告・予定・お知らせ ◆



令和4年12月11日(日)	定例会 (Zoom)	
令和5年 1月15日(日)	定例会 (Zoom)	
1月18日(水)	中野区自立支援協議会	山下委員参加
2月18日(土)	都支部理事会	宇野・井田参加
2月26日(日)	定例会 (Zoom)	
3月15日(水)	中野区自立支援協議会	山下委員参加予定
3月24日(金)	中野区ボランティアセンター運営協議会	宇野委員参加予定



◆ 東京都重症心身障害児(者)を守る会 主催  
2月16日(木) 令和4年度支部活動活性化支援事業  
学習会 (小平市分会)

「ライフスタイルと学び」

～学校卒業後の生活と特別支援教育～

講師 大江啓賢氏 (東洋大学准教授文学部教育学科)  
会場 小平市民活動支援センターあすぴあ・Zoom 併用



ライフスタイルは価値観、QOLは生活の質というのは、目から鱗の感じがしました。

特別支援教育への変換の背景として、WHOの障害モデルの変化、1980年の「機能障害 (Impairment)、能力障害 (Disability)、社会的不利 (Handicap)」から2002年の「機能障害 (Impairment)、活動 (Activity)、社会参加 (Participation)」と知ると見方が変わるように思いました。特別支援教育が担う「乳幼児期

から学校卒業までの一貫した支援、『生涯』にわたる相談・支援とサポート体制の構築」というのは、正に親が望んでいる壮大なテーマだと感じました。

「学校＝教育＝文科省」と「施設＝療育・福祉＝厚労省」の違いは、小1ギャップ、卒業後の学校ロスという形で見が経験していることですが、連携を期待することは勿論ですが、違いを知ることでも重要です。

「相手を理解する努力」「5年後に続く対応」というのは、子どもに対しても、それ以外にも、常に忘れてはならない事といういろいろ考えさせられる内容のお話でした。

宇野雅子

### 【ご相談・お問い合わせはこちら】

中野区重度心身障害児(者)を守る会 会長 宇野雅子

〒165-0024 中野区松が丘 2-19-9-306

Tel& Fax 03-3228-9235

E-mail nakanokumamorukai@gmail.com

HP <https://nakanoku-mamorukai.jimdofree.com/>

一緒に子どもたちの事を考えていきませんか？会員募集中です。

正会員年会費 11400円 ((中野区分会 1200円+東京都支部 1800円+本部 8400円)、中野区賛助会員 (1口 3000円))



この会報は、社会福祉法人中野区社会福祉協議会を通して「歳末助け合い運動」の配分金を受けて、発行しております。

2022年～2023年 兎のように飛躍の年に！

# 今年の抱負、チャレンジ、 モットー、一年を振り返って



Even the smallest  
one can change  
the world.



息子は今年度より訪問学級から通学になりました。体調が安定して想像以上に順調に通学する事ができました。同世代のお友達との関わりが増え、新しい事をたくさん経験して成長を感じる一年となりました。

先日学校で10歳を祝う会がありました。たくさんの苦難を乗り越えてこの日を迎えられる元気に参加する事ができ本当に嬉しく思います。

息子が通学できるようになり私も少しずつ自分の時間が持てるようになってきました。来年度はこれまで後回しにしてきたことをこなしつつ新しい事にもチャレンジしていきたいと思います。(M.T.)

“小さな存在でも世界を変えられる”  
ピーターラビットのお話から  
最近いいなと思った言葉 (F.Y)

小学校生活スタート！令和4年4月、息子が永福学園に入学しました。

1年を通して休みがちで、親は学校生活（＝朝慌ただしく送り出す生活）に慣れたとはとても言えません。

しかしそんな母をさておいて、本人は学校生活をとても楽しんでいるようです。毎日の連絡帳を見ると勉強や友達との交流を楽しむ様子がよく分かります。本人も、学校の話をするにニヤリと思い出し笑い。

驚いているのは、毎日麦茶の水筒を空っぽにして帰ってくること。ウチだと母を含めだれがやってもペロっと吐き出すのに、本人なりに ON/OFF を自覚しているようでそんなところにも成長を感じています。

また、毎日の連絡帳や通知表を見るにつけ、本人の成長はもちろん、先生方の奮闘と愛情とが垣間見られ、日々の成長、変化をつぶさに観察し、本人の気持ちに寄り添ってくださる姿勢にありがたい気持ちでいっぱいになります。

永福学園では今後まだ11年お世話になる予定。息子のこれからが楽しみです！ (K.N.)



土いじりにチャレンジ！

昨年秋、我が家のプランターでリコリス(黄色彼岸花)の種が取れた事がきっかけで興味を持ち、身近にある種と球根を育て始めました。緑色の小さな芽が出るように…と春を心待ちにしています (T.I.)

腰痛対策のため始めたヨガも3年目！すっかりヨガにハマってます。腰痛がなくなったわけではないけど80歳まで介助できるカラダ目指して今年もヨガ道精進します。(Y.S.)

10歳を過ぎてホッとしていたら、気付くと特別支援学校での学生生活の半分が過ぎていました。守る会で活動するなかで「学校を卒業してからは、長いよ」と先輩方からアドバイスをいただきます。学生生活にしかできないことを一日一日無駄にしないよう、親として最大限のフォローをしていきたいと思っています。親以外の良質な大人に接する中で本人の人格形成を築いていてもらいたい。そのために親として、何ができるのか？親が一定の距離を持って子供へ直接接する大人への感謝の気持ちも、率直に声に出して、常に忘れないように心がけていきたいです。(T.I.)

「押し」こそ日々の活力！

今年の夢は推しの(万年)十両力士の幕内昇進！！

今年の目標はハマってるスマホゲームの更なる技術向上！！ (N.Y.)

昨年久しぶりにBBQができて嬉しかったです。先輩ママが日時や予約の手配を、後輩パパが買出しなどで大活躍してくださり、色々な世代の方との交流ができました。

次イベントはディズニーランド！という声がありましたが、皆でどこかにお出かけができ出来たら良いなと思います。(W.T.)

今年の我が家のキャッチフレーズは、『チマにま』  
「チマっ」としたことで、「にまっ」と笑う！

美しい言葉で言えば、小さな喜びを大事にする。実態はメルカリで思いがけず売れてちょこっと儲かって断捨離にもなり嬉しい～という程度の話です。(M.U.)

編集後記

会員の声と共に、石松家の末娘 coco ちゃんに特別出演いただきました。  
第13号編集長 M.U.

